

法学部 自治行政学科 2年 男性

この度は、「村橋フロンティア奨学金」の奨学生に採用していただき心より感謝申し上げます。

私の家庭は決して裕福ではなく、父は汗腺異常をおこし転職しましたが、収入は激減してしまいました。母も働いておりますが金銭的な余裕はありません。私も去年からバイトを始めましたが、学業に打ち込みたい思いが強く、資格試験に挑むため学業に専念する必要があります。予習、復習、学業にかけられる時間が減少してしまうのではないかという不安がありました。

そんな中、数多くの応募者の中から奨学生に選んでいただき、驚きとともに大変有難く感じました。直ぐ両親に報告したところ大変喜んでくれました。奨学金は学費に工面させて頂きます。本当にありがとうございます。

奨学金授与式では、理事長や学長の話しを伺う中で、話の中に何度も「学校の代表」という言葉が出できました。授与式のパンフレットの中にも「母校を愛し、質実剛健、積極進取、中正堅実を建学の精神に掲げる神奈川大学の卒業生として、社会に貢献する人材となられますよう期待いたしております」と書かれていました。会報には「フロンティア奨学金は将来の日本を担う人材育成に大いに役立つもので、神大の存在を大いに高めてくれるものと自負致します」と村田会長の言葉が載っていました。このように素晴らしい奨学生に採用されたことは、感謝と共に新たに身の引き締まる思いで一杯です。

私は今、公務員を目指して勉学に励んでおります。公務員プログラム講座を受講し、履修科目も付随するものを選択しました。難しい条文もありますが、必死に読みこなし努力しています。TOEICもスコアアップを目指しニュースなど英語で聞くようにしています。サークルは、手話サークルに所属し先生と一緒に少しずつ学んでいます。大いに学び、友と語り、大学生活を謳歌しているところです。

最後に、人生は後戻りのできない道をひたすら歩いて行くようなものだと思います。壁にぶつかった時、このことを思い出し前へ進みたいと思います。この度は、本当にありがとうございました。